

# サブドレン他水処理施設の運用状況等

**TEPCO**

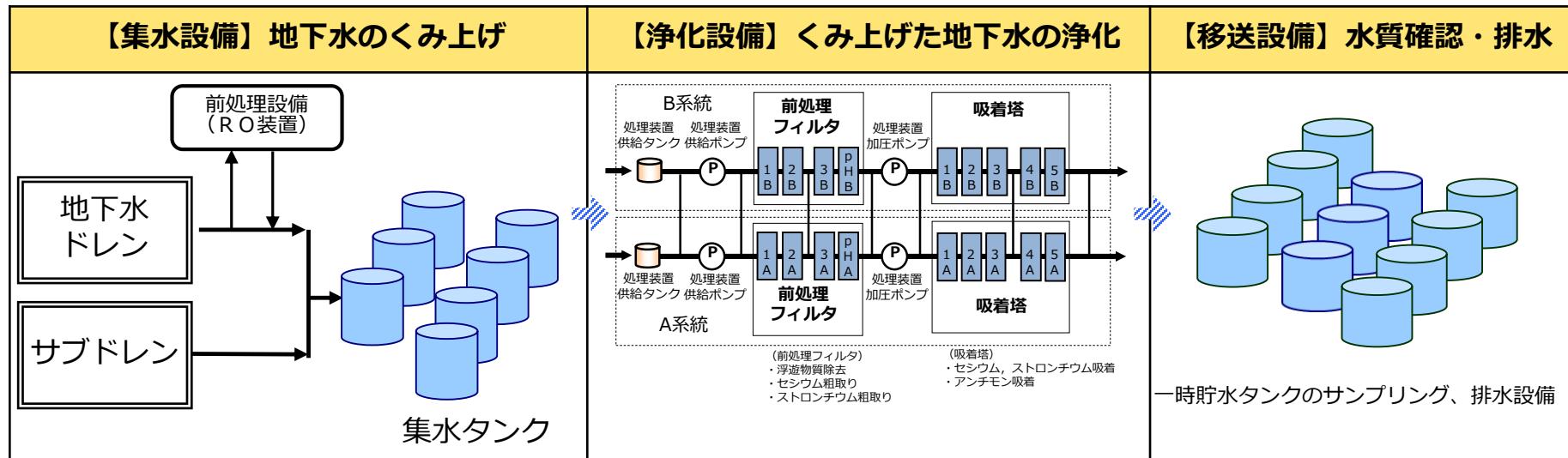
---

2025年 12月 25日

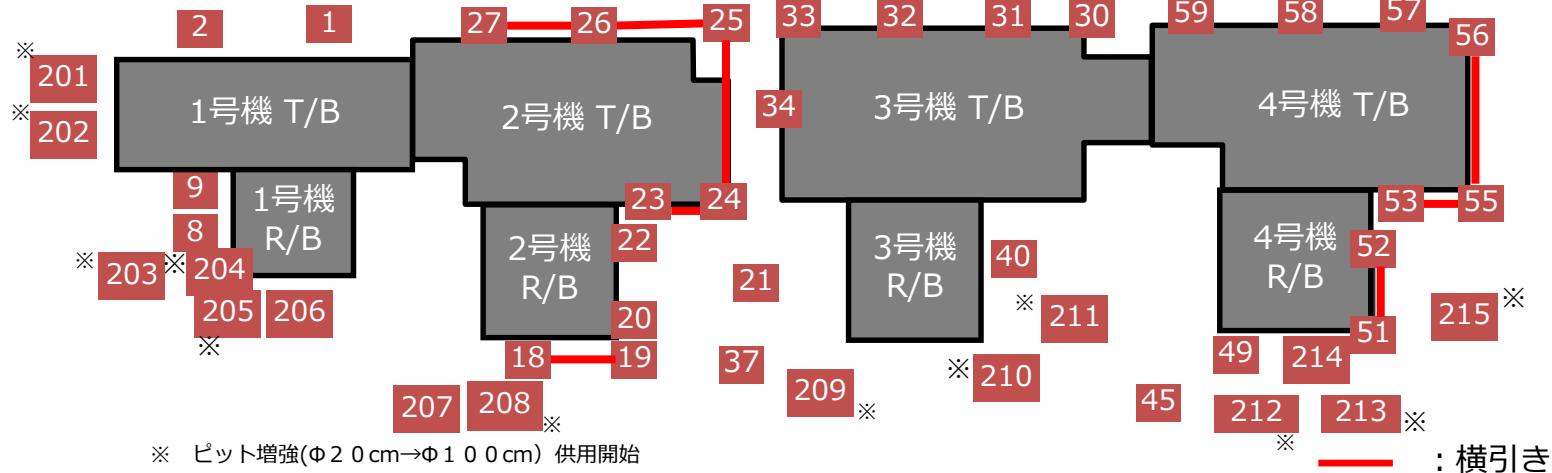
東京電力ホールディングス株式会社

## 1-1. サブドレン他水処理施設の概要

### ・設備構成

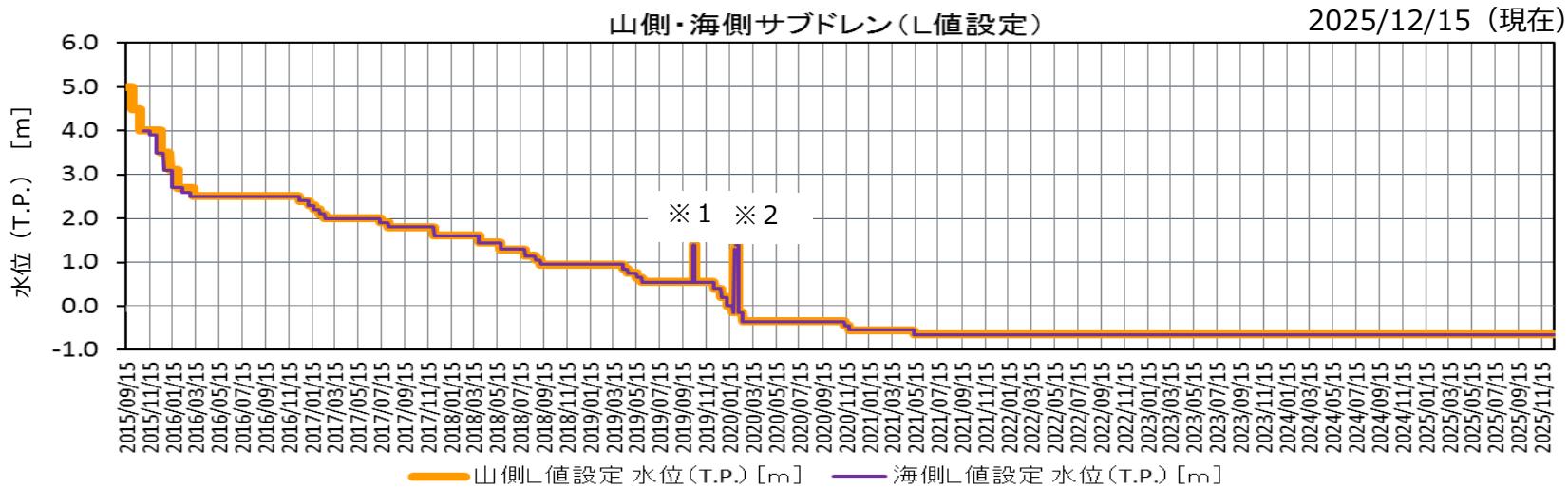


### ・ピット配置図



## 1-2. サブドレンの運転状況（24時間運転）

- 山側サブドレン設定水位のL値をT.P.+5,064mmから稼働し、段階的にL値の低下を実施。  
実施期間：2015年9月17日～、L値設定：2021年5月13日～T.P.-650mmで稼働中。
- 海側サブドレンL値をT.P.+4,064mmから稼働し、段階的にL値の低下を実施。  
実施期間：2015年10月30日～、L値設定：2021年5月13日～T.P.-650mmで稼働中。
- サブドレンピットNo.30,37,57を復旧し、2018年12月26日より運転開始。No.49ピットは復旧後、2020年10月9日より運転開始。
- サブドレンピットNo.21は、2号機燃料取り出し構台の設置工事に干渉するため、移設を行い、2022年10月7日より稼働を開始した。
- サブドレンNo.40ピットにて2022年4月21日に油分（低濃度PCB含有：0.56mg/kg）をうけ、周辺ピット（No.40,210,211ピット）の停止及び油分拡散抑制として、鋼矢板の設置等を行い、2023年10月2日よりNo.210,211ピットを再稼働し、2023年11月8日から連続運転に移行した。
- その他トピックス
  - ・10/31～11/1にかけて、震災後最大となる48.5mm/時の降雨影響によりNo.206の水位が急上昇した。No.206は、震災後当初の小口径（Φ200）ピットで、現在のピット設置状況から雨水が集まりやすく、水位上昇が起こりやすい状況であるため、今後、その対応として、大口径（Φ1000）の増設ピットへの変更を実施していく計画である。



### 1-3. 至近の排水実績

- サブドレン他水処理設備においては、2015年9月14日に排水を開始し、2025年12月15日までに2,840回目の排水を完了。
- 一時貯水タンクの水質はいずれも運用目標 ( $Cs_{134}=1$ ,  $Cs_{137}=1$ , 全 $\beta=3$ , H3=1,500(Bq/L)) を満足している。

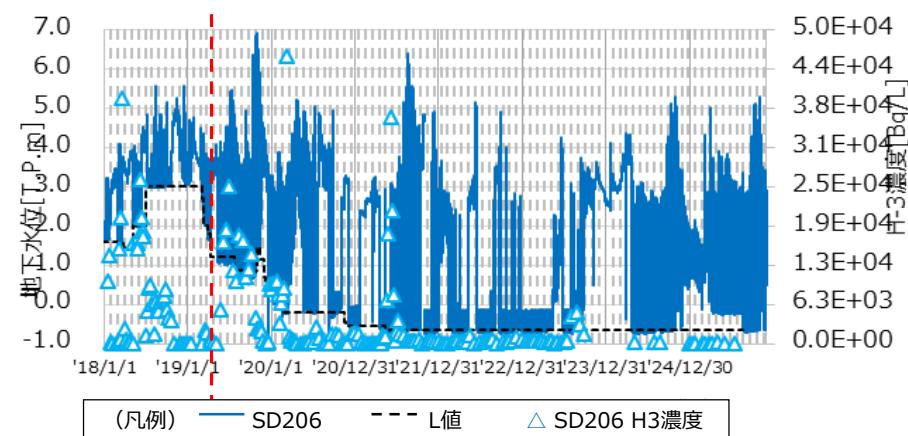
排水日		12/7	12/10	12/11	12/13	12/14
一時貯水タンクNo.		J	F	G	E	H
浄化後 の水質 (Bq/L)	試料 採取日	12/1	12/4	12/6	12/7	12/9
	Cs-134	ND(0.62)	ND(0.69)	ND(0.90)	ND(0.75)	ND(0.72)
	Cs-137	ND(0.57)	ND(0.86)	ND(0.82)	ND(0.82)	ND(0.59)
	全 $\beta$	ND(0.68)	ND(1.8)	ND(1.8)	ND(1.7)	ND(0.71)
	H-3	560	610	620	640	690
排水量 (m <sup>3</sup> )		507	642	524	514	499
浄化前 の水質 (Bq/L)	試料 採取日	11/29	12/2	12/4	12/5	12/7
	Cs-134	ND(4.6)	ND(4.1)	ND(5.8)	ND(4.6)	ND(5.0)
	Cs-137	130	130	140	120	130
	全 $\beta$	—	370	—	—	—
	H-3	570	610	640	680	700

\* NDは検出限界値未満を表し、( )内に検出限界値を示す。

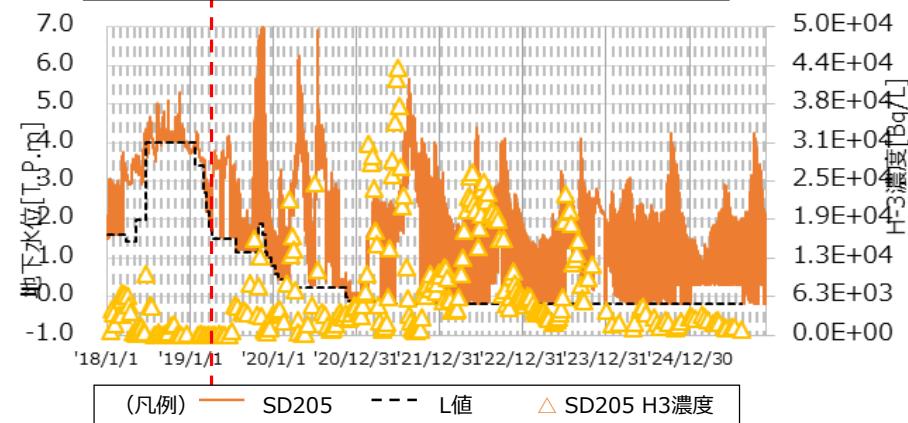
\* 運用目標の全ベータについては、10日に1回程度の分析では、検出限界値を1 Bq/Lに下げて実施。

\* 浄化前水質における全ベータ分析については、浄化設備の浄化性能把握のため週一回サンプリングを実施。

## 【参考】 1/2号機排気筒周辺サブドレンピットの水質

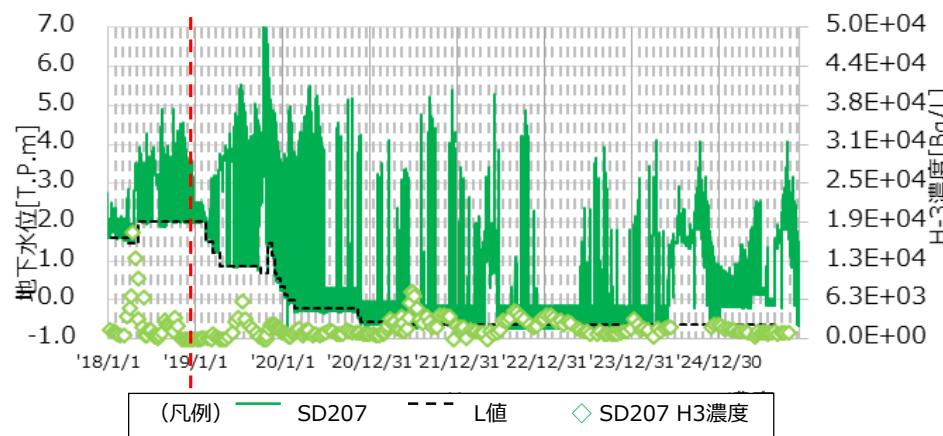


(凡例) SD206 --- L値 △ SD206 H<sub>3</sub>濃度

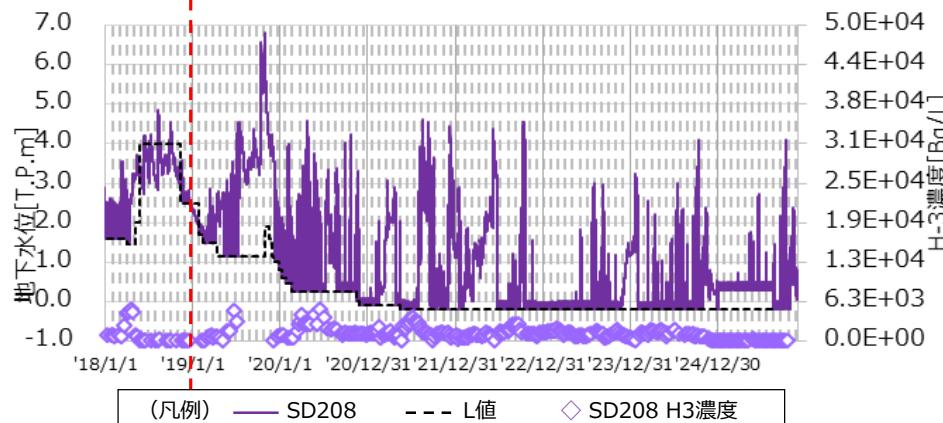


(凡例) SD205 --- L値 △ SD205 H<sub>3</sub>濃度

2019/2/6地盤改良完了



(凡例) SD207 --- L値 ◇ SD207 H<sub>3</sub>濃度



(凡例) SD208 --- L値 ◇ SD208 H<sub>3</sub>濃度

2018/11/6地盤改良完了